

報道関係者各位
プレスリリース



2015年04月17日
ブレインプレス株式会社

「エコノミー通訳」が1分単位の通訳を実現 次世代ビデオ通話システムを活用して急増する多言語ニーズに対応

BPO・コールセンター業務を提供するブレインプレス株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：下大藪 豊)は、1分単位で通訳サービスを提供する「エコノミー通訳」を発表しました。「エコノミー通訳」は、日常会話レベルに関してクラウド型ビデオ通話システムを導入することで、デスクトップやタブレットなどのデバイスさえあれば、時や場所を問わずにビデオ通訳サービスを受けられることを可能にします。

利用者は1分単位で通訳を依頼できるため、店舗であれば急な外国人の来店にも手軽に対応することができます。訪日観光市場の拡大をうけて多言語ニーズは急増傾向にあり、観光業や外食産業をはじめ、公共交通機関、小売業、公的機関、医療機関、金融機関など様々な業態での活用が見込まれます。

対応言語は、日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の6ヶ国語で、今後はタガログ語・ベトナム語・タイ語・インドネシア語などの言語にも対応していく予定です。

今回導入された次世代のクラウド型ビデオ通話システムは、アライアンスパートナーのスピシエル株式会社が開発・提供。クラウド型のため日本各地や世界各国にいる在宅通訳者もデバイス1台あれば「エコノミー通訳」の通訳者として登録申込が可能です。ブレインプレスでは、在宅通訳者をふくめたクラウドソーシングによる24時間体制の多言語通訳サービスを強化していきます。

なお、クラウド型ビデオ通話システムによるビデオ通訳のほかに、固定電話や携帯電話の回線を使った音声通訳にも対応可能です。

「エコノミー通訳」は2015年7月に提供開始予定で、ブレインプレスでは初年度利用ユーザー数5,000件を見込んでおり、2020年までに世界ユーザー数50万件を目指します。

< サービスの概要 >

(1) サービス名称

エコノミー通訳

(2) サービスの内容

固定電話、フィーチャーフォン、スマートフォン、タブレット、デスクトップ・ノートパソコンなどのマルチデバイスを活用した、音声・映像による多言語カスタマーサービス

(3) 通訳対象言語

日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語

(4) 利用料金

未定

(5) サービス提供開始日

2015年7月予定

(6) サービスご利用可能時間

24時間365日

(7) 想定顧客

観光業、外食産業、公共交通機関、小売業、公的機関、医療機関、金融機関など

(8) サービス対象エリア

日本国内／順次拡大予定

(9) 申込方法

専用ホームページからの受付(開設予定)

■ブレインプレス株式会社について

ブレインプレス株式会社は、2015年4月1日、株式会社プロネクサスの連結対象子会社である、株式会社 a2media から新設分割にて設立。同社の主たる事業目的は、BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)業務であり、その中でも多言語コールセンターの運営を業務の柱としております。(a2media は、IR・企業コミュニケーション分野を中心に国内上場企業のうち約6割(※)のシェアを持つ株式会社プロネクサスの連結子会社として、企業コミュニケーション関連のウェブサイト、デジタルコンテンツおよび印刷物の制作、CRMなどの事業を展開しています)

(※) 国内上場会社総数に対し、当社が有価証券報告書もしくは株主総会招集通知を受注している上場会社の割合)